



「心を豊かにする音楽科」 2021.03.19 クラスだよ！

緊急事態宣言で急遽休講となった授業の補講が3月19日に実施され、松本城洲夫先生、アンサンブル・サビーナの皆さんが担当されました。

ラテンアメリカの音楽、日本の西洋音楽史、映画音楽など3回分を要点をおさえながら、資料と映像と生演奏で進めて頂きました。

ラテン音楽は、ラテンアメリカの人種の多様性と共存を反映した文化であることが分かりました。ラ・クンパルシータやさらばジャマイカなどの演奏を聴きながら実感しました。



[画像クリックで動画再生]

日本の西洋音楽は、中世にキリシタンの聖歌から始まり、明治時代には本格的に導入されました。ヨーロッパの民謡の輸入から始まり、小学唱歌、歌曲、演歌、劇中歌などと発展し、国民に親しまれる日本独自の音楽を形成しました。庭の千草、埴生の宿、椰子の実など演奏され楽しみました。



[画像クリックで動画再生]

最後に映画音楽という新しいジャンルでも、音楽の持つ力、効果の大きさを改めて認識しました。

充実した補講を開催して頂き、関係者の皆さまに感謝いたします。

岩佐 益男



最後の授業はアンサンブル・サビーナのコンサートでした。受講生の要望を受け入れて演奏して頂きました。プログラムは前半がヨーロッパの名曲で、ヴィヴァルディの「四季」より、モーツァルトの名曲2曲、ブラームスの「ハンガリー舞曲第5番」、後半はアメリカの黒人霊歌、フォスターの曲、カントリーソング、プレスリーの曲などで、生き生きと、しみじみとさまざまな曲を楽しみました。松本先生も2曲朗々と歌って下さいました。



[画像クリックで動画再生]

その後は受講生全員が1年間の感想を一言ずつ述べました。コロナ禍の中で音楽の持つ力の大きさをつくづく感じ癒されたことを述べた者が多くいました。常任の松本先生、アンサンブル・サビーナの講義、演奏の充実したすばらしさ、「楽器の魅力と表現力」での音大の先生方のトークと演奏でプロの実力にも感嘆した者も多数でした。

そしてこのような講座を企画、運営されたスタッフへの感謝も述べられました。本当にありがとうございました。

その後修了式があり、猪谷理事長はコロナ禍での運営の苦心も述べられた後、私どもを激励されました。

そして名残を惜しみつつ、お別れをしました。

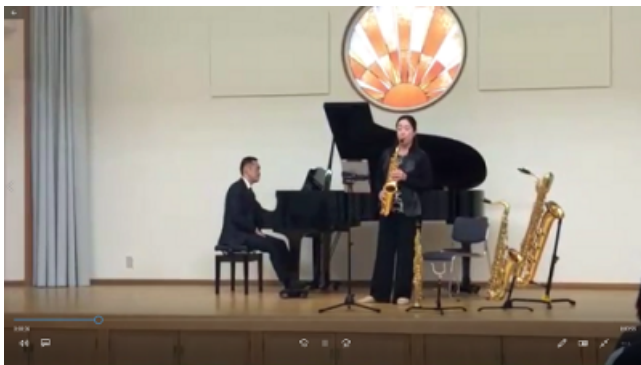
岩佐 益男



サクソフォーン井上麻子先生、ピアノ藤井快哉先生で昨年に続き2回目。
今回はサクソフォーンの4種類の楽器、ソプラノ、アルト、テノール、バリトンの違いと演奏で世界の民族性を理解することがテーマでした。
4種類の楽器を持ち替えながら、フランスのドビュッシーやルーマニア、スペイン、アメリカ、アルゼンチンの曲目を表情豊かに演奏されました。
ガーシュウィンでは、サクソフォーンの本領発揮とばかり盛り上がりました。
岩佐 益男

動画はガーシュウィンの「3つの前奏曲」

- 1, 速く、リズミカルかつ決然と
- 2, ゆったりと、自由なテンポで
- 3, 速く、リズミカルかつ決然と



[画像クリックで動画再生]



「心を豊かにする音楽科」 2021.02.26 クラスだよ!

本日の授業は楽器の魅力と表現力⑥声楽・テノール。

テノールが清原邦仁先生、ピアノが關口康祐先生でこのコンビは10月に続いて2回目でした。1回目は、声楽とはとその魅力についてのお話と実演でしたが、今回は日本の歌について学びました。

前半は日本の歌の歴史、日本歌曲の移り変わり、日本歌曲の歌唱について話されました。クラシックの歌曲はヨーロッパの歌が多くそれぞれの原語で歌うのに比べ、母国語の日本語で歌う日本歌曲はとっつきやすいように思われるが、実はプロの歌手でも相当難しいとのこと。言葉を音楽にのせてよく響き、聴き手にわかりやすくしかも感情をこめて歌うのには苦勞されるそうです。

後半はお二方による日本歌曲の実演で、明治時代から現代まで代表的な曲が紹介されました。不朽の名曲「荒城の月」、山田耕筰の「からたちの花」やナツメロ「イヨマンテの夜」、中田喜直、小林秀雄、木下牧子、信長貴富の曲でした。

清原先生の歌は日本語の言葉が明快にわかり、曲趣を十分に表現されました。「イヨマンテの夜」はすごい声量と高音で圧倒されました。關口先生のピアノも歌手によりそい、かつ曲を的確に描けました。

岩佐 益男



[画像クリックで動画再生]



「心を豊かにする音楽科」 2021.02.19 クラスだよ！

今週から授業が再開され喜んで参加した講義は、楽器の魅力と表現力⑤「オーボエ」でした。

オーボエは大島八洲夫先生、ピアノが大西隆弘先生。

楽器の特色、の楽器の扱い方、苦心するところ(リードの制作、選定など)

などについて演奏家ならではのお話でした。

実演はオーボエ・ソナタを 5 曲他で、音色が哀愁を帯びていて魅力的でした。

最後に阪神大震災で亡くなった中学生のエピソードを話された後、アンコール

に「川の流れるように」を演奏され、一同心をゆさぶられました。

岩佐 益男



[画像クリックで動画再生]



「心を豊かにする音楽科」 2021.01.08 クラスだよ！

寒波に見舞われた今年最初の授業は、「ベートーヴェンとシューベルト」について松本城洲夫先生とアンサンブル・サビーナが担当されました。

ベートーヴェンはフランス革命と啓蒙思想の時代の影響を受け、自己の心情、考え方を重視し、自分のために表現した作曲家でした。当時の宗教家、哲学者や文学者にも強い関心を持ち、神と自然などにも独自の考え方をもち、それを作品に表現しました。

シューベルトが活躍した時代は、フランス革命の後のウィーン体制の下で、政治が抑圧的で芸術家が活動しにくい雰囲気でした。しかしシューベルトは、友人に恵まれ短い生涯で多数の作品を残しました。その作品は、時代の陰影がうつし出されて悲しみや嘆きを描いたものも少なくありませんでした。

タイムリーに映像と生演奏があり、二人の巨匠について理解を深められ充実した2時間でした。月光ソナタ、交響曲「英雄」の葬送行進曲、シューベルトの歌曲「アヴェマリア」やメドレー等が演奏され、松本先生も1曲歌って頂き、大いに楽しめました。

岩佐 益男



〔画像クリックで動画再生〕



今年最後の授業は、古典派の作曲家～啓蒙の時代と音楽がテーマで、引続いて松本城洲夫先生とアンサンブル・サビーナの担当だった。

その時代は、産業革命がおこり封建社会が崩壊し資本主義が発展する過程にあった。神様が絶対的存在から人間主体への価値観へ転換した過程について学んだ。音楽もこれに従い、信仰のためから人間の楽しみのためと変化した。音楽家も仕えた貴族のためから自分自身や民衆のために作曲、演奏した。

このように音楽史を時代背景から見るのは学校の授業ではなかったので共感できた。

古典派前のジャン・ジャック・ルソー、ペルゴレージから古典派のバッハ、ハイドン、モーツァルトの音楽の特徴についても知ることができた。

先生の詳細な資料とわかりやすいお話、貴重な映像とアンサンブル・サビーナの実演とで立体的に楽しみながら学べた。贅沢な授業だった。

岩佐 益男



〔画像クリックで動画再生〕



今日も松本城洲夫先生のお話と実演で「バロック時代の音楽」について学びました。

前半は音律についてで、純正律、中全律、平均律の違いの説明と実演で微妙な違いを体感しました。平均律についてはピアノの調律の問題を解決したものの、精緻な感覚を養えないなどの問題があることを知りました。

後半はバロック音楽の起こりと、発展に寄与したコレッリとヴィヴァルディについてのお話と映像、音源とアンサンブル・サビーナの実演で理解を深めました。ヴィヴァルディは生き生きとした協奏曲の他多数の曲を作曲しただけでなく、不幸な境遇の孤児を救うためピエタ慈善院を作り、音楽教育に尽力しました。



〔画像クリックで動画再生〕



最後にヴァイオリン協奏曲「四季」をアンサンブル・サビーナの演奏で、活力にあふれた音楽を堪能しました。

岩佐 益男



「心を豊かにする音楽科」 2020.12.04 クラスだよ！

久しぶりに松本城洲夫先生の講義で「ルネサンスとオペラの誕生」についてのお話と実演でした。

いつもながら、お話と映像とアンサンブル・サビーナの実演との連携プレーがすばらしく感心しました。

ルネサンス時代の珍しい楽曲も多数紹介されました。



【画像クリックで動画再生】

先生のお話は、十字軍の遠征などを通じイスラム世界との交流が発生し、キリスト教では遠ざけられていた古代ローマやギリシャの文化が入ってきたことにより、「個人」を原点に考える「人文主義」の探求が開始されたこと。またその流れでイタリアからルネッサンスが始まったことの説明があり、興味深い講義でした。

岩佐 益男



「心を豊かにする音楽科」 2020.11.27 クラスだよ!

今週も根岸一美先生(大阪大学名誉教授)の知られざる音楽家ヨーゼフ・ラズカについてのお話と実演でした。

彼は在日した12年の間に、日本を題材にした音楽を多数作曲した。

万葉集や百人一首、俳句を歌曲に作曲したのは驚きだった。

曲はドイツ語で歌われ、不協和音が続く現代音楽風だったのも驚いた。

実演はソプラノが穴戸律子、ピアノが窪田恵美子、平田葉子、フルートが杉山佳代子の先生方でした。



アンコールは日本の有名な歌を次々と披露して頂き、盛り上がりま
した。

岩佐 益男



「心を豊かにする音楽科」 2020.11.20 クラスだよ！

本日の講義は先週に続き根岸一美先生(大阪大学名誉教授)のご担当でした。ラスカとその音楽 1 と題して、オーストリア生まれの音楽家ヨーゼフ・ラスカの話と作曲した曲の紹介でした。

ラスカは宝塚歌劇の音楽学校や神戸女学院の教授をしたが、日本では知られていず、根岸先生が研究された結果を教えて頂いた。

演奏はフルートが杉山佳代子先生、ピアノが鈴木由利子先生でした。



始めて聴くラスカの曲は結構なじみやすく、「日本の旋律」は題名どおり日本のメロディや音階をアレンジされており、組曲「奈良」も奈良の雰囲気がすっと感じ取られた。

ラスカの曲はもっと演奏され聴かれてもよいのではないかと思った。これらを演奏されたお二人もラスカの曲を何度も演奏されており、さすがの幅広い表現力でした。

アンコールは親しみやすい曲を 4 曲も演奏して頂き、最後まで楽しむことができました。



午後は雪印メグミルク社の栄養士のチーズについてのお話でした。チーズの歴史や製法、種類、食べ方をわかりやすく話されました。日本でポピュラーなプロセスチーズだけでなく、いろんなチーズを試してみたいくなりました。

岩佐 益男



「心を豊かにする音楽科」 2020.11.13 クラスだよ!



本日の講義はモーツァルトの歩み―歌曲を中心に―と題して根岸一美先生(大阪大学名誉教授)とソプラノ松尾由紀子先生のご担当でした。根岸先生がお話をしながらピアノを弾かれました。

曲目は可憐な曲、恋心やあこがれの曲、嘆きの曲、さらには怨念の曲など幅広く選ばれ、モーツァルトの表現のすごさがよく分かりました。

歌詞の読み上げと歌唱を繰返したり、ピアノが何を描いているのかを弾きながら説明されるなど、丁寧にわかりやすく進められました。

松尾先生も豊かな表現の歌唱で、始めて聴く珍しい曲も楽しめました。

今回も新しい知見を得て、生演奏に魅了され満足したひとときでした。

岩佐 益男



金色に輝き、形がなんともかっこよく、音をだすと心を奪われる楽器、それがサックスフォーンです。吹奏楽でも人気が高く、入部の時パートが奪い合いになるそうです。

「楽器の魅力と表現力」シリーズの4回目はサックスフォーンで大阪音大准教授の井上麻子のお話と演奏でした。ピアノは藤井快哉先生(同大教授)。

人気の楽器ですが、私たちは案外楽器について知らないし、サックスフォーン単独での演奏を聴いたことがありません。

今回は楽器の歴史、構造、特徴、種類などについて要領よく話して頂きました。

演奏では、この楽器が発明された曲から始まり、楽器の発展にそっていろんな曲が紹介されました。アメリカではジャズでさらに発展したのでその名曲も楽しめました。

井上、藤井両先生は二つの楽器でデュオを組まれて久しく、さすがに息もぴったり、掛け合いも絶妙でした。



〔 画像クリックで動画再生 〕

今回もまた一つ楽器についての知識がふえ、その良さを味わうことができました。

午後は、午前中の授業の感想を話合いましたが、大変好評でもっと違った楽器について知りたいという意見もありました。

岩佐 益男



「心を豊かにする音楽科」 2020.10.30 クラスだよ!

岩佐 益男

「楽器の魅力と表現力」シリーズの第3回は人間の楽器、テノールでした。

大阪音大講師の清原邦仁先生のお話と生演奏がありました。

はじめに声楽について話されました。声楽は吟遊詩人あたりから始まり、教会での宗教音楽、オペラと発展したこと、表現上、感情の抑制と爆発に配慮すること、声の種類などについて学びました。



その後、関口康祐さんのピアノ伴奏で8曲ほど歌われました。プログラムは民謡、歌曲、歌劇のアリアから発展のようすがよくわかるように、うまく選曲されていました。スコットランド民謡「グリーン・スリーブス」イタリア古典歌曲「カロ・ミオ・ベン」歌劇「愛の妙薬」から「人知れぬ涙」、ナポリ民謡「オー・ソレ・ミオ」など。



[画像クリックで動画再生]

先生は、しんのしっかりしたよく透る声で表情豊かに歌われました。これまでのホルンやクラリネットと同様に、人間の声も多彩な表現のできる楽器だとわかりました。

ピアノも単なる伴奏だけでなく、雰囲気づくりで歌をリードする役目があることを知りました。今回も新しい発見があり、そのうえ音楽を堪能できました。



「心を豊かにする音楽科」2020.10.23 クラスだよ!

岩佐 益男

「楽器の魅力と表現力」シリーズの2回目はクラリネットで、大阪音大准教授の鈴木孝紀先生のお話と実演でした。クラリネットの歴史や構造、種類についてわかりやすく話されました。

実演では、アメリカのジャズ、ヨーロッパのジプシー風リズム、南米のショーロ、日本のジンタ、チンドンなどの曲を紹介され、地域ごとの特色を知り、楽しむことができました。



後半では先生の演奏されるバックミュージックの下、受講生代表2が「越後屋と悪代官」と題して商人和代官の短い芝居を演じました。

即席でしたが結構うまくやれたので拍手喝采でした。



[画像クリックで動画再生]

先生はクラシック音楽のご出身ですが、ジャズをはじめ、幅広い分野の方と活動されているので、クラリネットの魅力をいろんな角度から表現されました。音色も響きも千変万化、曲想もしみじみとしたり、軽快であったり、ユーモラスであったり、深刻などさまざまです。クラリネットの広い可能性を知り、演奏を堪能した半日でした。

午後は、講座の会場である正福寺の住職、末本弘然様の声明のお話と実演です。声明は仏様をたたえる音楽であり、アナログ的で演歌と共通点があるということでした。朗々とした声で声明をいくつかとなえられ自然と有難い気分になりました。



「心を豊かにする音楽科」 2020.10.9 クラスだよ！

岩佐 益男

私たちのクラスでは今年度から「楽器の魅力と表現力」というシリーズが新たに始まりました。第1回はホルンで大阪音大教授の池田重一先生のお話と生演奏でした。



ホルンの歴史では狩の合図の角笛が始まりで、その後楽器の改良が重ねられ現在のよう
な魅力的な楽器になったこと、めずらしい同類の楽器、長く大きなアルペンホルン、郵便
馬車に使ったポストホルンなども実演されました。



先生は大阪フィルで長年演奏されていて、演奏された人でないとわからないような話がありました。顔の構造、あごがしっかりし、唇が薄い人がホルンの演奏に向いていることやオーケストラの楽員のこぼれ話などを話され、興味深くお聴きしました。

演奏では柔らかで心を包んでくれるような音色、響でうっとりします。曲目もしみじみとした曲、可愛い曲、快活な曲など多彩な表現を楽しみました。

お話と演奏でホルンの魅力を立体的に表現され、素晴らしい授業でした。

今後もクラリネット、サクソフーン、テノールの演奏が予定され楽しみです。





心を豊かにする音楽科

～ レクチャーコンサートを楽しむ ～

8期生 蛍池教室

9月18日(金)授業風景



9月25日(金)

「今日のひと言」より

- ローマ建国神話から始まってキリスト教の話、中世のグレゴリオ聖歌までを一気に大事なポイントを要領よく話していただきました。しかし十分な理解ができたか、心もとないありさまで。サビーナの演奏と先生の歌が魅力的でした。
- 音楽の勉強と、歴史の勉強、集中して聞き勉強になりました。
サビーナの演奏、やすらぎました。
- 楽しい時間、サビーナさん達の演奏も素晴らしい!! 先生のお話も楽しいです。

クラスだより

岩佐 益男

私たちのクラスも9月4日(金)から授業が始まりました。
コロナ対策も、指先消毒、検温、マスク着用、ソーシャルディスタンスの確保に加え、講師の先生方や演奏される方々も、フェイスシールド着用、飛沫防止のビニール幕の設置など随分気を使ってなさってくださいました。

講義では、ピアノ練習曲(バイエル、チェルニー、ブルグミュラー)の特色などについて講師の根岸先生が実演しながら、説明してくださり理解を深めることができました。またチェロとその音楽についても実演があり、その良さを味わえました。

また、松本先生の講義では音楽史として通常よりも、ギリシャ、ローマ時代にまで遡って話して頂き、映像とアンサンブルサビーナの皆さんの実演があり、興味深く受け止めました。演奏された曲は「ジェリコの闘い」(先生の歌唱あり)「こげよマイケ

ル」「マタイ受難曲」よりなどと印象深い曲ばかりでした。

このようにコロナ禍の中ではありますが、私たちは音楽を思う存分楽しんで、名実ともに心豊かに過ごしています。



心を豊かにする音楽科

～ レクチャーコンサートを楽しむ ～

8期生 蛭池教室

9月4日(金) 授業風景 講師：根岸 一美 先生



9月11日(金) 「チェロとその音楽」 講師：根岸 一美先生 チェロ奏者：佐谷 基世先生

今日のひと言 より

- チェロ 音が素敵です。小生50年以上コーラスでバス担当ですが、チェロの音の近くで歌っています。嬉しく聞かせてもらいました。チェロの演奏も上手だが、ピアノの根岸先生も素晴らしい。
- コロナで疲れた心が、まるでビロードの布でくるまれた様な至福な時間でした。
音楽はスバラシイ！
- ・根岸先生の温かい、わかりやすい話術の解説は楽しかったです。
・佐谷さんのチェロ演奏～心に響く音色と確実なテンポはさすがプロの演奏家、

素晴らしいです

・ピアノ、チェロの生演奏、また、聴きたいです。

- 各自自己紹介。それぞれのお話を聞き、意欲のある前向きの方が多く、思うことが多々ありました。
- 午後の自己紹介を聞き色々な経歴を持ち、みんなと友達になれたらうれしいと思います。

【クラスアドバイザーコメント】より

- 縁あって前向きでパワフルな素敵な皆様と出会うことができました。
この出会いを大切にしていきたいと思います。